

## 小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表 令和4年度

法人名	社会福祉法人 健楽会	代表者	田崎 健治	法人・ 事業所 の特徴	福井市西部に位置し、足羽川などの川があり、野鳥が軒下に巣作りするなど自然豊かな環境にあります。 地域密着型介護老人福祉施設と一体となった施設に1階にあり、納涼祭や文化祭、避難訓練など合同実施や各種委員会の開催など協力体制の中でサービス向上に努めています。 ショッピングセンターなど社会資源が多くあり買物など気軽に行ったり畑で野菜作りをし調理などで生活リハビリの一環としております。 毎月地域のデイホームに足を運んだり、地区の体育祭に参加したり、地域交流をしています。
事業所名	小規模多機能 ほおずき	管理者	山田 和美		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	2人	0人	1人	1人	0人	3人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画が全職員に周知できるように、改善計画のファイルを作成し、ほおずき内で回覧する。</li> <li>回覧後、ファイルは解りやすい所に置いておく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルを作成したが、職員全員がしっかり回覧できているかは分からない。ファイルの置き場所は決まっていなかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業所自己評価の中で「できていない」という項目が多いのはなぜか？</li> <li>本人の声にならない声をチームで言語化するのは難しいと思う。</li> <li>職員同士で情報共有できていないのはコミュニケーション能力が低いからではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>改善計画が全職員に周知できるように、ファイルの置き場を決め、見たら押印を押すようにする。</li> <li>職員同士もコミュニケーションを取るようにする。</li> </ul>
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナ感染対策を十分に行う。</li> <li>玄関の整理整頓を心掛け、花や植物を植える事で、明るく、清潔感のある玄関にしていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花や植物を植え、玄関は明るく清潔感を保つ事が出来た。</li> <li>コロナ感染対策は十分に行っていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入りやすい工夫としてはどんな事をしていましたか？</li> <li>ほおずきは東安居苑に併設している為、ほおずきだけの工夫は難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>玄関先に花を置いて環境整備し事業所に入りやすい環境にする。</li> <li>明るく、清潔感のある玄関にしていく。</li> </ul>
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方に会ったら、笑顔で挨拶し、関わりを持つ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の方に会ったら笑顔で挨拶出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>どんな風に地域と関わろうとしているのか分からない。</li> <li>今はコロナ禍で交流出来ていないが4月からは出来るかもしれない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>コロナも緩和されてきた為、地域の行事にも参加していく。</li> <li>地域の方と会ったら、笑顔で挨拶していく。</li> </ul>

D. 地域に出向いて本人の暮らを支える取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・引き続き、コロナ感染対策をしながら、個別ケアに力を入れていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ禍により地域の活動には参加出来ていない。</li> <li>・利用者に一人ひとりの個性やニーズに合わせたケアを心掛けていた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者を事業所の中だけに閉じ込めていませんか？という質問の意味が難しい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ感染予防はしつつ、地域の行事に参加していき、関わりを増やしていく。</li> <li>・地域のボランティアなどにも声かけし事業所の催しに参加してもらう。</li> </ul>
E. 運営推進会議を活かした取組み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営推進会議で地域の方の意見を聞くことでサービス向上につなげていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方の意見を聞く事は出来ていない。</li> <li>・運営委推進委員会での内容が分からない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新人職員は運営推進委員会で何をしているか分かっていないのではないだろうか。</li> <li>・現実的にはコロナで開催できていない。(書面にて行っている)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会議の内容をミーティングで他の職員にも伝え情報を共有していく。</li> <li>・引き続き、地域の方の意見を聞きサービス向上につなげていく。</li> </ul>
F. 事業所の防災・災害対策	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯アプリのBANDを活用し、迅速に行動できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・携帯アプリのBANDの活用は出来ている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どんな災害訓練を行っていますか？</li> <li>・利用者も一緒に災害訓練を行っているのか？</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設内の防災、風水害、防犯訓練などに地域の民生員、ボランティアなどに一緒に参加してもらえないか声掛けする。</li> </ul>